

1000 倍の水を買う理由と、水輸入国である日本

【Abstract】

近年、日本人のミネラルウォーターの消費量がどんどん上がっている。授業で、ミネラルウォーターの値段は、水道水のおよそ 1000 倍、ということについて触れたが、安全とされている水道水を使わずになぜ買うのか。同時に、世界の水事情を知る上で、必ずといって良いほど話題に上る水の輸出入について考えていきたい。日本には、本当にありあまるほどの水が存在しているのだろうか。

1990 年の農林水産省のガイドラインによると、ミネラルウォーターは 4 つに分類される。

- 1 ナチュラルウォーター→1つの水源から採取された地下水で、沈殿ろ過または加熱殺菌処理だけをした水をさす。
- 2 ナチュラルミネラルウォーター→ナチュラルウォーターの中で、地層中のミネラル分が溶け出したことにより、成分的に特徴をもった水をさす。
- 3 ミネラルウォーター→源水はナチュラルミネラルウォーターと同じだが、複数の源水をブレンドしたり、ミネラル分を調整したり臭気を除いたりした水をさす。
- 4 ボトルドウォーター→上記の3種以外の水のことで、蒸留するなど人工的な処理をした水をさす。

表1は、国内におけるミネラルウォーターの国内生産、輸入の推移である。これからわかるように、国内生産量、輸入量共に、年々増加している。特に注目したいのが清涼飲料に占める割合が2006年には12.6%になっている。8人に1人が水を買って飲んでいるのだ。重いので、ネット市場もかなり拡大しているようだ。最近の水は、ミネラル分などを強調し、健康で美容によいというイメージを強く打ち出しているので、人気が出てきたのであろう。また、表2は1人あたりの消費量を外国と比較したものである。西欧の人々と比べるとまだまだ少ないが、世界規模でもミネラルウォーターの市場は確実に拡大してきている。ここで問題になるのが、世界にはまだまだたくさんの国が水不足で、命を落とす人も大勢いるということである。水がこのように資源として取引されている中、貧しい国は水を吸い上げられ枯渇し、豊かな金持ちの国に流れ込んでいる。ここでは実際の飲料水としての水の姿に注目したが、後に姿を変えた水についても触れる。

表 1

ミネラルウォーター類 国内生産、輸入の推移

年	国内生産		輸入			合計		※ 清涼飲料に 占めるシェア%
	数量	前年比	数量	前年比	シェア	数量	前年比	
1986	81,000	97.5	1,179	109.9	1.4	82,179	97.7	1.2
1987	86,000	106.1	3,547	300.8	4.0	89,547	108.9	1.1
1988	95,000	110.4	9,091	256.3	8.7	104,091	116.2	1.2
1989	101,000	106.3	16,279	179.0	13.9	117,279	112.7	1.2
1990	150,000	149.1	25,348	155.7	14.5	175,348	149.5	1.6
1991	244,000	162.6	34,686	136.8	12.4	278,686	158.9	2.4
1992	300,000	123.0	45,594	131.4	13.2	345,594	124.0	2.9
1993	346,400	115.5	68,430	150.1	16.5	414,830	120.0	3.6
1994	412,300	119.0	146,821	214.6	26.3	559,121	134.8	4.3
1995	452,200	109.7	198,713	135.3	30.5	650,913	116.4	5.0
1996	485,900	107.5	144,721	72.8	22.9	630,621	96.9	4.7
1997	645,900	132.9	148,605	102.7	18.7	794,505	126.0	5.7
1998	714,600	110.6	159,127	107.1	18.2	873,727	110.0	6.0
1999	956,400	133.8	175,582	110.3	15.5	1,131,982	129.6	7.4
2000	894,300	93.5	195,334	111.2	17.9	1,089,634	96.3	6.9
2001	1,021,200	114.2	226,061	115.7	18.1	1,247,261	114.5	7.8
2002	1,075,500	105.3	264,078	116.8	19.7	1,339,578	107.4	8.1
2003	1,132,500	105.3	331,575	125.6	22.6	1,464,075	109.3	8.9
2004	1,295,855	114.4	330,671	99.7	20.3	1,626,526	111.1	9.3
2005	1,427,099	110.1	406,925	123.1	22.2	1,834,024	112.8	10.0
2006	1,800,850	126.2	552,591	135.8	23.5	2,353,441	128.3	12.7

輸入資料……財務省関税局 日本貿易統計

2002年国産生産量データ修正: ▲35,000KL(重複計上のため)

※シェアは輸入ミネラルウォーターを含む

表 2

ミネラルウォーターの1人当り消費量の推移

(単位: リットル/年・人)

年	国	日本	アメリカ	カナダ	イギリス	ドイツ	フランス	イタリア	ベルギー	スイス	スペイン
1986		0.7	22	—	—	65	76	66	63		
1987		0.7	24	—	—	67	79	74	68		
1988		0.8	27	—	3.1	74	83	79	74		
1989		0.9	31	—	5.7	82	93	90	87		
1990		1.6	33	—	6.8	90	105	106	96		
1991		2.3	36	—	8.0	75	104	116	100		
1992		2.8	37	—	8.4	82	110	117	105		
1993		3.3	40	—	9.2	82	112	120	104		
1994		4.5	43.5	—	11.0	89.8	106.0	140.7	111		82.0
1995		5.2	45.8	9.0	13.1	98.1	110.5	125.2	99.0	75.2	92.4
1996		5.0	49.6	10.6	13.5	96.1	111.4	128.1	96.9	82.2	84.9
1997		6.3	53.4	12.8	14.8	100.7	116.0	133.8	100.1	88.9	90.6
1998		6.9	57.9	14.7	15.0	101.4	120.9	137.0	101.7	92.9	99.7
1999		8.9	63.6	16.7	16.0	103.8	130.1	138.0	109.0	95.4	112.5
2000		8.6	67.4	20.3	21.0	97.2	135.1	145.5	106.7	97.7	122.3
2001		9.8	73.1	25.1	23.2	103.8	141.6	149.7	112.7	106.7	131.4
2002		10.5	80.2	29.4	26.0	108.5	146.9	163.6	118.7	108.2	140.9
2003		11.5	85.5	33.2	30.5	121.4	156.4	178.4	129.4	111.0	156.5
2004		12.7	74.6	36.8	32.9	117.4	149.0	165.2	143.5	113.8	159.0
2005		14.4	80.6	42.3	35.8	124.6	156.2	168.3	158.0	116.6	168.7
2006		18.4									

参考資料

- ・ユーロモニター インターナショナル
- ・Beverage Industry, 財務省関税局 日本貿易統計など
- ・日本の人口は1993年より総務庁統計局の推計を使用(2006. 9. 1現在 1億2,774万人)
- ・ドイツ・1990年までは、西独のみ。
- ・2002年データ修正: ▲0.3L(国内生産数量一部重複計上のため)

インターネット調査

飲料水に関するアンケート調査で京浜・京阪神地区の 20 才～59 才の既婚女性を対象にミネラルウォーターの利用状況を聞いたところ、回答者の 55%が利用していると答え、利用目的では「水道水がおいしくない」という理由を挙げる人が利用者中の 56%で最も多かった。「コーヒー、お茶などの嗜好品を飲む時おいしく飲みたいから」(41.8%)も4割を超え、嗜好品だからゆえの、味へのこだわりがありそう。

以下、「健康にいいから」(29.9%)、「水道水は塩素等、健康によくないものが入っているから」(29.5%)、「水道水が臭うから」(28.3%)と、健康面、臭い関連が続く。

地震などの災害への準備も 16.8%となっている。

ミネラルウォーターの使用有無 (n=441)		ミネラルウォーターを使う理由 (ミネラルウォーターは使わない、を除いて集計)(複数回答)(n=244)	
	%		%
ミネラルウォーターを使っている	55.3	水道水がおいしくないから	56.1
ミネラルウォーターは使わない	44.7	コーヒー、お茶などの嗜好品を飲む時おいしく飲みたいから	41.8
		健康にいいから	29.9
		水道水は塩素等健康によくないものが入っているから	29.5
		水道水が臭うから	28.3
		地震災害などの緊急用で常備している	16.8

(表3)は、水の利用状況をみたものである。

(表3) 水の利用状況(n=441・複数回答)

	水道水	浄水器	市販のミネラルウォーター	詰替え用のミネラルウォーター	井戸水	その他
飲用水として	27.3	46.8	36.2	6.9	0.9	6.7
コーヒーやお茶を作るとき	41.6	48.3	10.3	5.8	0.7	5.4
ご飯を研ぐとき	64.9	34.9	0.7	1.1	0.7	1.8
ご飯を炊くとき	44.5	47.0	4.3	5.1	0.7	3.4
味噌汁やスープを作るとき	48.8	45.9	2.9	4.0	0.7	2.2
煮物を作るとき	51.5	44.5	1.8	3.1	0.7	2.2
麺つゆなどの希釈(割るとき)	34.0	45.2	16.8	5.1	0.7	4.5
麦茶を作るとき	41.2	47.0	5.8	4.5	0.7	4.7
水を作るとき	47.2	40.7	7.4	3.4	0.7	3.8
焼酎やウィスキーを割るとき	24.6	34	21.3	5.6	0.7	4.5

飲用水として利用するのは、浄水器の利用が 46.8%、市販のミネラルウォーターの利用が 36.2%なのに比べ、水道水を使用しているのは 27.3%と3割に満たない。

料理での水の使用実態をみると、ご飯をつくる時に、「研ぐ」と「炊く」では水の利用が異なっている。研ぐときは水道水利用が 64.9%と高いが、炊くとなると、浄水器利用が 47%、水道水が 44.5%と、浄水器利用がわずかではあるが上回っている。味へのこだわりだろうか。

味噌汁、スープをつくる時は、水道水と浄水器利用がほぼ半々。煮物ではやや水道水の利用が高い。水道水と浄水器利用で差があるのは、「麦茶をつくる時」(水道水 41.2%、浄水器利用 47%)、「焼酎やウィスキーを割るとき」(水道水 24.6%、浄水器利用 34%)と、飲み物への利用では、浄水器利用に軍配が上がっている。

ミネラルウォーター類の家庭内消費量は年々増加、10年前の2.5倍に拡大（2005年10月）

http://www.intage.co.jp/chikara/02_topics/454/

多くの人にとって、その理由は、水道水がおいしくないことや、安全性を疑っているからという結果であった。では、水道水は本当に危険で、まずいものなのだろうか？厚生労働省によると、平成17年度の資料に50項目にわたり、水道水の水質基準が細かく定められている。（厚生労働省 HP www.mhlw.go.jp）安全をアピールしているが、それでも浄水器やミネラルウォーターは売れ続けている。その反面、ミネラルウォーターと水道水の飲み比べをして、見分けられるか、という実験結果によると、ほとんどの人が見分けられなかったようである。水道水が塩素臭い、まずい、というのはほとんど先入観や水の温度と関係している。浄水施設がきちんと管理されている日本は本当に豊かな国であるといえよう。

【姿を変えた水】

ここで問題となってくるのが、日本は水資源が豊富と思われているが、水輸入国でもあるのだ。水不足が懸念されている国が未だたくさんあるのに、「湯水のように使う」という表現がある国が、水を世界中から輸入している。それは、仮想水という考え方によるものである。仮想水とは、農産物、畜産物の生産のために大量の水が使われていることを考慮し、計算したものであり、その水は表面的には見えないため仮想水と呼ばれる。具体例を挙げると、米1kgを作るのに約8t、牛肉は肉1kgに対して700~800tもの水が必要とされている。その観点から見ると、大量の食糧輸入国である日本は、同時に大量の水資源輸入大国といえるのである。（農林水産省 HP <http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/index.html>）世界の17億人は水不足で不自由な生活を余儀なくされ、毎日6000人、年間では200万人の子供が不衛生な水のために死亡している。（Vol.27 世界最大の水の輸入国、日本を襲う洪水被害 <http://www.kaiteki-jinsei.jp/kabutocho/071019.html>）

食料自給率が40パーセントにも満たない日本にとって、これは大きな問題である。では、企業の食料対策や、節水のための新技術の他に、身近にできることは何だろうか。一人ひとりがこまめに節水することや、資源を無駄にしないという心構えが大切だと思う。今回この授業で最も身近である液体、水について学び、世界に実態を調べていくうちに、ビジネスとしての意外な姿や困窮していく地球の様子が浮かび上がってきた。生物にとって欠かすことの出来ない水を、もっと大切にしなければならぬことを改めて思い知らされた。

【参考文献】

ミネラルウォーター類の家庭内消費量は年々増加、10年前の2.5倍に拡大（2005年10月）

http://www.intage.co.jp/chikara/02_topics/454/

厚生労働省 HP www.mhlw.go.jp

農林水産省 HP <http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/index.html>

Vol.27 世界最大の水の輸入国、日本を襲う洪水被害

<http://www.kaiteki-jinsei.jp/kabutocho/071019.html>

統計資料 <http://www.minekyo.jp/sub3.htm>

隠れた水輸入大国・日本の現実